

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 27日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール熊本

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		ワンフロアであるため、活動に合わせて環境整備を行っております。	今後も活動や利用児童の特性に応じて適切な環境設定を継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	6			療育プログラムに応じて必要なスタッフ数に配慮する等行っております。	配置基準を厳守して配置しております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			6		建物の構造上困難な部分もありますが、今後可能な範囲で配慮するよう努めてまいります。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		利用児童の情報や支援計画を朝礼やミーティング等で共有し、日々の支援や業務の改善につなげております。	今後も継続して実施してまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者等向け評価表を活用し、ご指摘いただいた事項については日々改善案を検討しております。	今後は保護者様向けのアンケートを定期的 に実施し、業務改善につなげてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			事業所内に貼り出しを行っております。	今後予定しているホームページのリニューアルに伴い、今回よりホームページ上でも公開させていただきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6	本部による社内評価を実施しております。	第三者による外部評価については行っておりません。今後の検討課題とさせていただきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			オンライン研修を年10回以上実施しております。また、社外研修への参加を奨励し、社内研修も定期的に実施しております。	社内研修の質向上に努め、スタッフの専門性を高める取り組みを継続して行っております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		保護者様からお伺いした情報やスタッフ見解による日々のアセスメントを基に、一人ひとりに応じた計画を作成しております。	アセスメントの頻度を上げ、利用児童の状態や保護者様のニーズの変化把握に努め、個別支援計画書作成に活かしていくことを検討してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		必要に応じて専門職等のアセスメントも行っております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			各スタッフが日頃から意見を出し合い、チーム内で協力し、立案しております。	今後はより多様な意見を入れながら、よりよい活動プログラムを立案できる体制を検討してまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			集団活動で利用児童が楽しかったものやメディアで放送された物、スタッフの過去の経験等から取り入れております。	今後も継続して実施してまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		毎月、必要に応じて行事担当を決め、調理や工作等の内容を事前に細かく計画し、実施しております。平日は集団活動と必要に応じた個別、休日や長期休暇は外出レク等の	今後も継続して実施してまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		利用児童一人ひとりの特性や目標に応じて活動を計画しております。	今後も継続して実施してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼時に情報共有をし、打ち合わせを行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		支援終了後に振り返りを行うようにしておりますが、送迎の時間の都合上、当日に行えない場合は、翌日に振り返りを実施しております。	支援開始後にスタッフ全員参加の定期ミーティングを実施する体制を整えてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		個別支援計画における個々の目標や支援内容を基に、日々の様子を記録しております。記録を基にスタッフ間で振り返りつつ、より適切な支援に結びつけることができるよう取り組んでおります。	今後も継続して実施してまいります。また、改めて全スタッフに適切な記録方法を共有し、よりよい支援につなげていけるよう取り組んでまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			スタッフ間で定期的に支援会議を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			個別のニーズや課題等にに合わせて、様々な活動を組み合わせた計画を行っております。	今後も継続して実施していくと共に、サンクスラボ・アフタースクールの他拠点での取り組み等も参考にし、取り入れながら、より豊富な支援内容を準備してまいります。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			現在は主として児発管や特定のスタッフが参加している状況です。	現在担当児童の振り分けが明確に出来ておりませんが、今後は担当児童等も振り分けて担当スタッフが参加出来るような体制づくりを行ってまいります。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		学校の計画や行事予定に関する情報共有を学校と行っております。また、必要に応じて利用児童の状況に関する会議を開催しております。	今後も継続して実施してまいります。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		現在、医療的ケアが必要な利用児童がいらっしゃいませんが、今後、受け入れる際には関係機関との連絡体制を整えていく必要があるため、必要に応じて対策を検討してまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		6	情報共有、および資料がある場合は資料を基にした引継ぎを行っております。	今後、新たに利用となる児童には保護者の同意の上で、情報共有に取り組んでまいります。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		5		過去に卒業生を送った際に実施したことはありましたが、直近では対象児童さんがおらず未実施でした。今後卒業生を送る際は実施してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			6		保護者様のニーズも汲み取った上で、今後の実施を検討させていただきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6		今までコロナ禍だったこともあり、未実施でしたが保護者様のニーズも汲み取った上で今後の検討とさせていただきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	1		今後、参加できるよう検討してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時等に日頃の様子等をお伝えし、共通理解して頂けるよう努めております。	連絡帳等を有効活用し、日々の状況をより詳しく共通理解できるよう検討してまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	1		保護者様のニーズも汲み取った上で、今後の実施を検討させていただきます。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約の際や変更があった際にスタッフより説明させて頂いております。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			保護者様よりご相談があった場合、送迎時や電話等を通じて支援させて頂いております。	今後も継続して実施してまいります。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	1		保護者様のニーズを汲み取った上で、今後の実施を検討させていただきますが、次年度実施する予定です。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		1		現在苦情は届いておりませんが、今後頂いたご意見に関しまして、全スタッフ参加のミーティングの実施や、本部との連携等を行い対応させて頂く体制づくりの整備は出来ております。また、必要に応じて相談支援事業所とも頂いたご意見を共有して対応してまいります。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			アフスク新聞やHP等で情報発信を行っております。また、月末に活動写真をアルバムにして保護者様へ発信しております。	今後はアフスク新聞やHPの改善等に取り組んでまいります。
35		個人情報に十分注意している	6			書類等は鍵付きのキャビネット等で管理しており、写真等も保護者様のご意向をお伺いした上で取り扱っております。	今後も継続して実施してまいります。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			本人に伝わりやすい方法を検討し、実施しております。	今後も継続して実施してまいります。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	1		コロナ等の社会情勢を判断しながら、今後は実施できるような体制づくりを検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		6			スタッフには漏れなく周知出来ていますが、保護者様には説明不足があり、今後はモニタリング等の機会を利用して保護者様にも説明を行っていくよう検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			年間を通して火災やその他災害訓練を行っております。また、震災ミュージアムへも見学を実施しました。	想定される災害等に関して行政と確認をしながら対応を検討してまいります。今後、消防署見学等も行う予定にしております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			現在は社内での研修を実施しており、そちらに参加しております。	社内で虐待防止委員会を設置すると共に、全スタッフへの周知を行っておりますので、今後も継続して実施してまいります。今後は外部の虐待防止研修等にも積極的に参加してまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		6			現在、身体拘束の必要性がある利用児童がいらっしゃいませんが、今後、突発的に突発的に身体拘束の必要性が生じることも想定し、研修を行ってまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		保護者様から食物アレルギー等の状況をお伺いし、対応させて頂いております。	今後、アレルギー等がある利用児童に関しましては、医師と連携をし、対応できる体制づくりを検討してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		1		ヒヤリハットが起きた際、報告書を作成し、保管しております。